

令和5年度 原村総合教育会議 会議録

日時 令和5年10月24日

15:00～16:30

場所 原村役場 201 会議室

○出席者 村長 牛山貴広 教育長 古清水巖

教育長職務代理者 五味正成 教育委員 須藤陽子 村中千夏

総務課長 秋山雄飛 総務係長 風田川美枝

子ども課長 百瀬則夫 生涯学習課長 五味武彦 教育総務係 登内紀美子

傍聴者：小松志穂

長野日報(中村)

1 開 会

進行 百瀬子ども課長

2 あいさつ

牛山村長 総合教育会議に初めての出席になりますがよろしく願いいたします。私自身も4人の子どもの子育て現役世代です。父親の立場として、村長の立場として、両方同じだと思いますが、子ども達には夢や希望をもって育ってほしいと思っています。その手助けをするのが大人の役目ですし、全力で応援することをまずやらなければならないと思います。村長として、本日の協議事項の4つについては、なるべく早く取り組んでいかなくてはと思っているところです。一つずつ思いを話します。

・放課後の居場所について 学童クラブと原っ子広場を検討・見直しするために現在アンケートを実施していますが、その中でより良い意見をいただいて考えていきたいと思っています。学校が終われば帰宅するという学校の方針、今までの流れがありますので、どのように考えていくかも課題だと思います。

・教育施設周道路路整備について 今回、小平さんから企業版ふるさと納税で2千万円の寄附をいただきました。子育て施策に使ってほしいということで、要望が多くてできなかった保育園駐車場の舗装整備と、学校周辺の歩車道の分離をできることから整備していきたいと思っています。

・中学校部活動地域移行について 自分自身こちらにUターンしてきてから、スピードスケートは小学校にかなり依存していたところがあったのですが、地域に下ろすという活動をスケートクラブでしました。学校の先生が土日の大会に帯同していたのですが、なるべく先生の負担を減らし、事務作業も先生が担当して夜中までしてくれていましたが、それも地域に下ろして地域総合スポーツクラブで行うなど、子ども達のスポーツを地域に下ろすという活動をしてきました。その一環で中学校の部活動も、文部科学省が進めていますが、早くやら

ないと大会に出られないまま卒業してしまうので、一番大事な子ども達のスポーツの教育の期間を逃してしまうので、早急に対応していかなくてははいけません。現在、教育長が富士見町と連携を密にとっており、今後私も入り進めていきたい、スピード感をもってできていることと認識しています。

・コミュニティスクールのあり方について 国の政策に沿うことも大事で、沿うことで補助金が出ることもありますので、今後進めていくため検討していきたいと思います。

古清水教育長

3 協議事項 進行 五味村長

(1) 原村教育大綱について

説明 古清水教育長 詳細は、「原村教育大綱」で説明。 訂正について説明。

村長

説明に対しご意見はありますか。

では、説明のとおり決議することについて、異議なしとして決めますがよろしいでしょうか。(全会一致)

原村教育大綱の策定年月を令和4年10月とし決定事項として決めますがよろしいですか。(全会一致)

(2) 令和3年度事業実施報告及び令和4年度事業の状況について

説明 古清水教育長 詳細は、「令和4年度原村の教育」で説明。

(3) 教育の課題と今後の対応について

説明 伊藤子ども課長 詳細は、「Ⅲ今後の方向について」で説明。

1 子ども・子育て支援センターについて

五味委員

建設はできても、実際の運用が大切となる。開館時間及び開館日について検討していくということなので、保護者等の意見を参考に人件費の予算確保に努めて、若者の移住促進も含め村の活性化のため、子育ての充実を図っていただきたい。

村長

実際には理事者査定に決定となる。

五味職務代理

先日の知事からも若者と女性に選ばれる村というところが強調されているので力を入れていってほしい。

小林委員

いろいろな問題を抱えている保護者に対して、相談する場などの機能を充実するため、人員の確保をお願いしたい。

村長

それぞれご意見をいただいたことについて、検討し進めていく方針とします。

2 放課後の居場所について

説明 伊藤子ども課長

須藤委員

支援センターができるということですが、今後放課後の居場所がどのようになるか経過観察する中で、中高生の居場所についても検討していただき、特に中学生の部活が終わる時間を考慮していただけたらと要望します。

村長

ご意見をいただいたことについて、検討し進めていく方針とします。

3 保育のあり方について

説明 伊藤子ども課長

小林委員

村の重点施策の中に、福祉と子育て支援について掲げており、風の子保育園については3歳未満児が豊富な経験ができる場として、まさにその施策に沿った施設であると感じられます。ぜひ、認可に向けて考えてほしい。

五味委員

村の保育施設の拡充については、財政面などで困難となっており、特に未満児の受入れ先である風の子保育園のスタートについては村にとってとてもありがたいことである。今後のニーズについても報告を受ける限りニーズがあることから認可に向けて考えてほしい。

村長

八ヶ岳風の子保育園の認可について、決を採ります。

認可（令和5年4月1日付）することを決定することにご異議ありませんか。
(全会一致)

認可することに決定させていただきます。

4 中学校休日部活動地域移行について

説明 五味生涯学習課長

五味委員

現時点で八ヶ岳総合スポーツクラブが5月に設立されているので、今後もこの団体を活用して実施する種目を検討し拡充する必要があるので、村として可能な限りの補助も含めた方針をお願いします。また、休日に限らず平日についても引続き検討してほしい。

古清水教育長

村の暮らしを発展するには、子どもにどれだけ大人の持っている力を注ぎ込んでいけるのかということがすごく大きなキーワードになると考えます。全ての子どもにかかることについて、村全体で子どもに対し先行投資をしていく必要であると考え、中学校の部活動移行については、村の可能な限り支援していくことを検討していきます。

村長

それぞれご意見をいただいたことについて、検討し進めていく方針とします。

5 小中学校エアコン設置について

説明 伊藤子ども課長

村長

計画については、R5年度にエアコン設置完了、供用開始に修正とする。

6 その他

村長

小中学校グラウンドの管理について、雑草対策の予算を検討（特に中学校）。
中学校プールの跡地利用の検討。

4 閉 会

村長

特に原村教育大綱について、子ども・子育て支援センターの関係、八ヶ岳風の子保育園の認可について、それぞれ議決していただきありがとうございました。今後も村民の皆さんの付託に答えられるよう、原村総合教育会議を通じ図ってまいります。